

平成30年10月12日

各都道府県教育委員会教育長 様  
各市町教育委員会教育長 様  
各小中学校（園）長 様  
各特別支援学校長 様  
各教育関係者 様  
全海研会員・関係者 様

全国海外子女教育国際理解教育研究協議会  
会 長 滝 多賀雄  
東海ブロック国際理解教育研究会  
三重県海外子女教育国際理解教育研究協議会  
会 長 川 村 武 弘

第12回東海ブロック国際理解教育研究大会（三重大会）  
平成30年度三重県国際理解教育研究大会  
（最終案内）

**大会主題** 『多文化共生の時代を切り拓く児童生徒の育成』  
～新たな国際理解教育の創造をめざして～

- 1 日 時 平成30年11月10日(土) 12:30～16:40
- 2 会 場 鈴鹿市立 <sup>しろこ</sup>白子小学校  
〒510-0243 三重県鈴鹿市白子1丁目12-12  
Tel. 059-386-0039 Fax. 387-3777  
近鉄名古屋線「白子駅」下車 徒歩5分  
(近鉄 急行・特急停車駅 特急で名古屋より約40分)
- 3 主 催 全国海外子女教育国際理解教育研究協議会  
東海ブロック国際理解教育研究会  
三重県海外子女教育国際理解教育研究協議会
- 4 後 援 文部科学省 海外子女教育振興財団  
三重県教育委員会 三重県市町教育長会  
鈴鹿市教育委員会 三重県市町教育委員会連絡協議会  
三重県小中学校長会  
日本教育公務員弘済会三重支部

## 5 日程

12:00 12:30 13:00 14:20 14:30 16:10 16:20 16:40

受付	開会 行事	記念講演 (80)	休憩 移動	分科会 1 「多文化共生」	休憩 移動	閉会 行事
				分科会 2 「外国語教育」		
				分科会 3 「SDGs」 (ESD)		
				分科会 4 「在外教育施設」		

## 6 記念講演

大村ミリアン 氏（元鈴鹿市外国人指導助手）  
演題 「日本で暮らすということ」

### 【講師紹介】

ブラジル サン・パウロ生まれ、サン・パウロ育ち。

平成2年初来日。工場や洋食店で勤務する。平成12年から三重県警・検察庁通訳非常勤、平成18年鈴鹿市教育委員会人権教育センター多文化共生事業講師。平成19年4月より鈴鹿市教育委員会外国人児童生徒支援員に採用され、平成21年から29年度末まで外国人指導助手として鈴鹿市内の小中学校で勤務する。平成19年に日本国籍を取得。

### 【大村様より】

来日して30年近くが経ちました。その間、日本での生活では幾多の苦労もありましたが、常に前向きに生きてきました。私の日本での生活経験・学校での支援員としての経験から、日本に所縁のある人々の「日本で暮らす」ということについて顧み、お話をさせていただきます。

後藤彰夫 氏（本田技研工業株式会社 人事部 教育相談室長）  
演題 「HONDAの海外展開と教育相談」

### 【講師紹介】

教員として昭和58年から3年間ワルシャワ日本人学校で勤務し、帰国後は東京都海外子女教育研究会・事務局長、全国海外子女教育国際理解教育研究協議会・事務局長などを務め、その後、平成25年より本田技研工業の人事部で主として海外駐在をする社員の子どもの教育相談に当たっている。

### 【後藤様より】

本田技研は本年創立70周年（1948年設立、浜松市）を迎えました。その中で、1960年の鈴鹿製作所の開設は、「世界一のオートバイメーカーになる。」ことを目指した創業者本田宗一郎・藤澤武夫の考えを現実化させるものでした。この鈴鹿の地で、HONDAの歩み、海外への展開、そして、駐在員子女への教育の現状を紹介させていただきます。

## 7 分科会（敬称略）

### （1）分科会 1 「多文化共生」

国際理解教育において、グローバル化が進行する現在、「多文化共生」の視点がますます重要となってきています。特に、東海四県は外国人児童生徒数が多い地域であり、互いの違いを受け止め、他者とかかわり、想像力を高めることを大切にする実践が求められています。他県の実践から今後にかかせるヒントが得られる場合もあるのではないのでしょうか。各県で取り組んでいる「多文化共生」にかかわる実践を学び、各県の課題解決への糸口を見いだせる契機になればと考えます。

岐阜県 羽島市役所市民協働課  羽島市立小熊小学校	係長 上野 健太 教諭 岩本 陽作 教諭 西 薫	市民協働課と学校で創る国際理解教育 ～2020年東京オリンピックに向けた ホストタウン事業を通して～
愛知県 岩倉市立岩倉東小学校	校長 三浦 光俊	授業の中で活躍できる学力・表現力を 身に付ける日本語指導 —岩倉市日本語適応教室の取り組み—
三重県 四日市市立西笹川中学校	教諭 佐藤 紀文	「多文化共生のまちづくり」 —多文化共生モデル地区の拠点・西笹川中学校—

## (2) 分科会2「外国語活動」

在外教育施設では、国際理解教育の一環として外国語教育を進めてきましたが、国内においても小学校に外国語活動・外国語教育が位置づけられました。コミュニケーション力を重視し、子どもたちが互いに親しみ、人とより良くつながることができる外国語活動や外国語教育を進めるために、効果的な指導に係る工夫や、小中学校の連携・接続などについても考える分科会にしたいと思います。

三重県 鈴鹿市立合川小学校	校長 谷口 浩二	伝え合い かかわり合い 学び合い ～英語活動を中心とした コミュニケーション力の向上をめざして～
静岡県 浜松市立瑞穂小学校	教諭 大倉 良彦	「よりよく生きる外国人児童の育成を求めて」 ～多文化共生を目指した学習指導・生活適応支援～
愛知県 名古屋市立堀田小学校	教諭 中西 幸宏	積極的にコミュニケーションを図ろうとする 児童を育てる外国語活動 —学級全体が協力して課題を解決する クラスワークを通して—

## (3) 分科会3「SDGs」(ESD)

「SDGs」は「持続可能な開発目標」と訳されており、世界が2016年から2030年までに達成すべき17の環境や開発に関する国際目標です。2015年の国連サミットで合意され、日本では外務省が中心となり進めています。「ESD」の後継概念となるのではないかと考え、今回の東海ブロック大会であえてこの用語を使用し、我々の学びの場にしようと考えました。各県の取組を紹介してもらうと同時に、分科会の最後には、宇土泰寛先生から最新の情報も頂きたいと企画しています。

愛知県 岡崎市立生平小学校	教頭 山本 典弘	多文化共生の心を育み、 持続可能な社会づくりをめざした国際理解教育 「愛・地球」つなげよう学びの世界地図 —SDGsでつむぐ「地域と教育」—
岐阜県 恵那市立長島小学校	教頭 佐々木 治	SDGs 陸の豊かさを守り、 住み続けられるまちづくりをめざして ～私たちのふるさと恵那 その森を守る活動を通して～
分科会講評 「SDGs」特別講座	椋山女学園大学 学部長 (教育学部子ども発達学科教授) 宇土 泰寛 氏	

#### (4) 分科会4「在外教育施設」

文科省は「在外教育施設グローバル人材育成強化戦略」の中で、グローバル人材の育成の拠点として在外教育施設を挙げています。私たちが在外教育施設で行ってきた実践は、まさにグローバル人材の卵の宝庫で行ってきた大変貴重な実践であったといえるでしょう。本分科会での実践の交流を通して、在外教育施設での実践・経験の活かし方の示唆を見出したり、教師自身もグローバルな視点を持つたりできるような分科会にしたいと思います。分科会の最後には、後藤彰夫先生から北米補習授業校の情報も頂きたいと企画してします。

静岡県 浜松市立船越小学校	教諭 藤原 淳史	「グローバル人材育成を目指した8つの取り組み」 ー教員と児童の 資質・能力を高めることを目指してー
三重県 紀北町立西小学校	教諭 疇地洋史郎	多文化共生における教育 ～ドイツ国際平和村との交流体験学習を通して～
分科会講評 北米補習授業校情報	本田技研工業株式会社 人事部 教育相談室長 後藤 彰夫 氏	

8 参加費 無料  
(※ ただし、当日受付にて資料代 1,000円をいただきます。)

9 情報交換会 17:30～19:30  
※ 会費 お一人 5,500円  
※ 大会当日、会場にて集金させていただきます。  
※ 会場;ホテルグリーンパーク鈴鹿(当日ご案内いたします)

10 参加申し込み・問い合わせ

- ※ メールでお送りいただいても、FAXでお送りいただいても結構です。
- ※ 東海ブロック各県の方は次ページの様式で、各県でお申し込みいただくと助かります。(個人申し込みも受け付けます)
- ※ 締め切り 10月25日(木)

### 【三重県事務局】

三重県海外子女教育国際理解教育研究協議会

事務局長 豆野 朋雄 <[eaasah43@ccnetmie.ne.jp](mailto:eaasah43@ccnetmie.ne.jp)>

(事務局) 〒510-8103

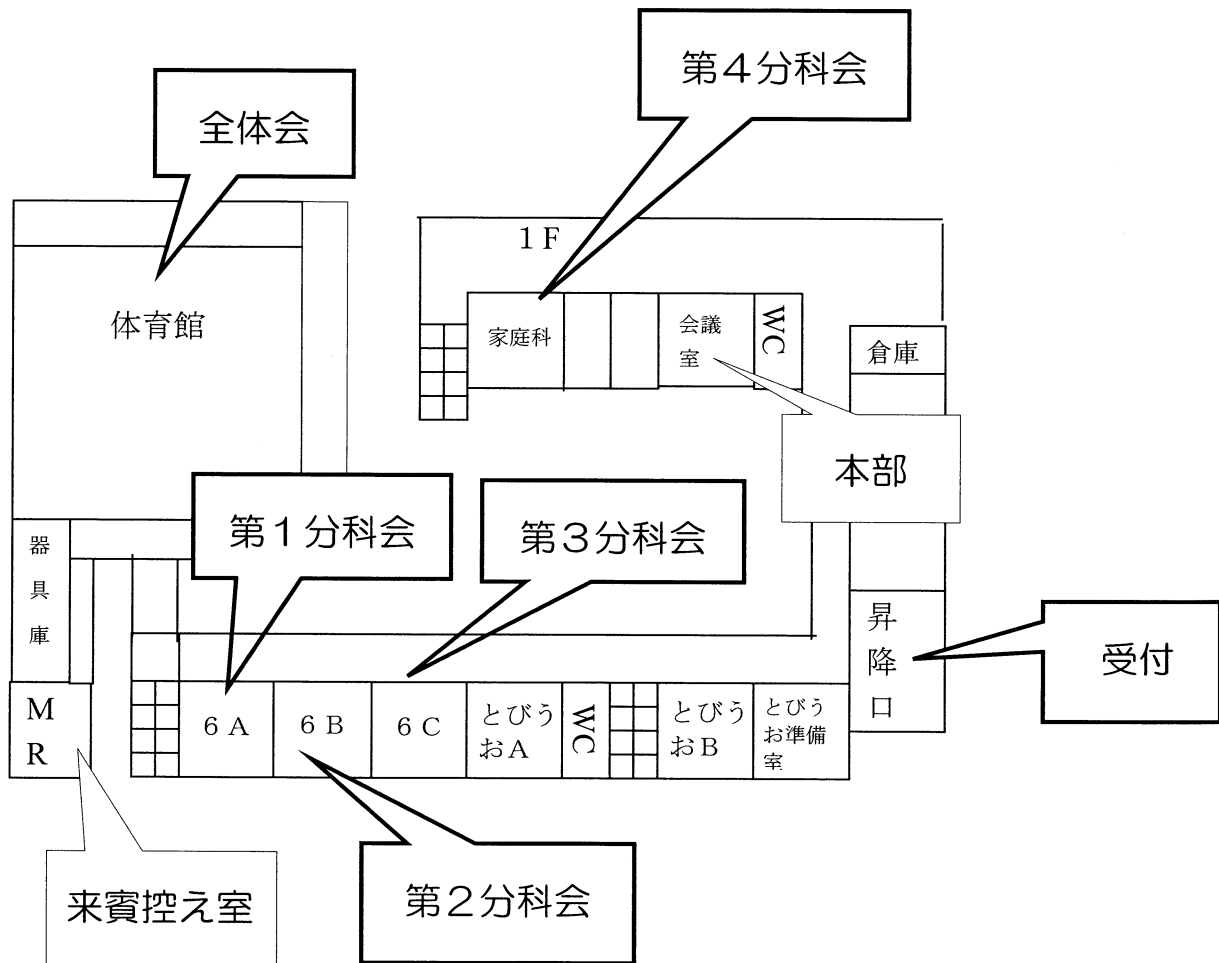
三重郡朝日町立朝日町柿 750番地  
(三重郡朝日町立朝日小学校)

TEL : 059-377-2057 FAX 059-377-2278



- (所在地) 〒510-0243 鈴鹿市白子一丁目12-12
- 北緯34度49分 東経136度35分
- TEL 0593-86-0039 FAX 0593-87-3777
- 近鉄白子駅より南へ350m(白子駅東口から徒歩5分)
- 国道23号「白子三」交差点を東へ350m

# 白子小学校 教室等配置図



## 東海ブロック大会参加申込書

F A X 先 神戸町立神戸小学校 坪田 和歌子宛

F A X 番号 0 5 8 4 — 2 7 — 7 4 8 8

No	職名	名前	分科会参加希望	情報交換会
1			第1 第2 第3 第4	出席・欠席
2			第1 第2 第3 第4	出席・欠席
3			第1 第2 第3 第4	出席・欠席
4			第1 第2 第3 第4	出席・欠席
5			第1 第2 第3 第4	出席・欠席
6			第1 第2 第3 第4	出席・欠席
7			第1 第2 第3 第4	出席・欠席
8			第1 第2 第3 第4	出席・欠席
9			第1 第2 第3 第4	出席・欠席
10			第1 第2 第3 第4	出席・欠席
11			第1 第2 第3 第4	出席・欠席
12			第1 第2 第3 第4	出席・欠席
13			第1 第2 第3 第4	出席・欠席

※職名、お名前、分科会参加希望、情報交換会の欄に記入をお願いします。

**締め切り10月24日(水)必着**